

クラーク高校の学生さんと、地域との連携について話し合いました



納内地域集落対策協議会とクラーク高校が連携してまちづくりの活動に取り組んでいくことを目的に、クラーク高校の「オリジナルレシピ開発ゼミ」と「アクティブスポーツゼミ」に協力をいただき、10月16日と11月20日に話し合いを行いました。

話し合いでは「サロンなごみ」の活用をはじめとして、地域の自然体験、家庭へのショートステイとお手伝い、職業体験などの学習、農産物を共同で作って餅つきやそば打ちをする交流、カラオケや昔遊びなどを一緒に楽しむ交流など、さまざまな提案が出されました。

これらの提案は「地域づくりビジョン」に反映すると同時に、実施可能なものを検討し、今年度から取り組めるものについては取組を始めたいと考えています。

第1回：10月16日（金）

納内のまちの歴史や産業、まちの課題などについて学び、「サロンなごみ」を見学しました。

第2回：11月20日（金）

「サロンなごみ」の活用や、日ごろのゼミ活動から考えられる地域との連携について出しました。

活動の提案（投票のあったものを掲載）

- ★高校生が納内町内の家にショートステイする（交流・通学が楽）お年寄りの除雪を手伝うなど労働力を提供し、安く泊めてもらう。（8+2=10）
- ★バーベキューとじゃんけん列車をみんなで楽しむパーティー。（5+4=9）
- ★納内町の自然（サンショウウオ、沢のぼり体験できる場所）を生かし、地域の子どもとふれあう。元気の泉で宿泊。自然体験学習。（3+1=4）
- ★もち米や小豆をまちの人と一緒に作り、もちつきと大福づくりをする。（2+7=9）
- ★若い人が立ち寄るような店を作る（コンビニ）。学校に売店をつくとよい。（2+5=7）
- ★まちの方みんなと合唱・カラオケ大会。（11）
- ★学校全体で参加する、地域の方をよべるお祭りを（出店、アイスキャンデル、かまくら、ソリ山、料理サークルがつくったものをかまくらで食べる）。（5）
- ★近くの高校生も呼んで、納内で職業体験をする。→結果、就職したら家賃値引きなどの制度があるといいな。（4）
- ★「サロンなごみ」で地域の人と一緒に料理をする（子ども、お年寄り一緒に）ゆるキャラも作りたい！（1）

シール投票：一人3枚のシール（うち一番重要なものは一番シール）を投票しました。提案の後ろの数字は（一番シール数+その他シール数=合計数）です。

★ 1～2月の予定 ★

<1月>

- 地域づくりビジョンと戦略案の検討
- 地域医療に関するアンケートの集計

<2月>

- 「サロンなごみ」の体験会
- 若手農家との意見交換
- 地域づくりビジョンと戦略のまとめ

納内まちづくり通信 第3号 平成28年1月

発行：納内地域集落対策協議会（深川市役所納内支所内）

深川市納内町3丁目1-1

電話 0164-24-2111

メール osamunai@city.fukagawa.lg.jp

冬期集住体験をしてみませんか？

市街中心部より遠くに住んでいる高齢の方は、バス停や駅が近くにないため、車がないと買物や通院に苦労しており、特に冬は除雪作業が大きな負担になります。

納内地域集落対策協議会では、空いている教員住宅を利用し「冬期集住体験」のできる住宅として提供しています。冬でも暖かく、病院と食料品店が近くて便利です。ご夫婦やお友達などと、複数人が集まってご利用できます。関心のある方は協議会事務局（☎24-2111）までお問い合わせください。

納内まちづくり通信 第3号

発行：納内地域集落対策協議会

いつまでも住み続けられる活力あるまちづくりに取り組む、納内地域集落対策協議会の活動をお知らせします



深川市在住で、札幌ピアニストソサエティの眞保響さん、札幌交響楽団ファゴット首席奏者の坂口聡さんによる「サロンなごみクリスマスコンサート」を開催しました。

新しい年がはじまりました。

納内地域集落対策協議会では、11月15日に130人あまりの方々とまちの将来について話し合い、たくさんのご意見やご提案をいただきました。また12月24日には「サロンなごみ」でクリスマスコンサートを開催し、多くの方にお楽しみいただきました。今年も、クラーク高校をはじめとする地域の施設との連携を進めるなど、地域ぐるみでまちづくりを進めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

納内地域集落対策協議会 会長 安藤 一彦

topics

- まちの将来を話し合う集いを開催しました！ →2～3ページ
- クラーク高校と連携した取組を検討中！ →4ページ

いろいろな方に、まちの課題や今後についてお聞きしました

■子育て世代の方から・・・

納内で子育てをする上での良い点や課題、子育て世代に必要な支援などをお聞きしました。「小学校ではみんな仲良く穏やかで思いやりがある一方、少人数で競争心が生まれにくく、多様な人間関係を経験できる機会があるとよい。」「放課後の居場所が限られるので、地域で学習支援などの取組があるとよい。」「習い事で深川まで通う場合は送迎の負担が大きい。」などの意見をお聞きしました。

■地域の福祉事業所から・・・

地域の方の利用状況、日ごろのつながりや今後の連携の可能性などをお聞きしました。「高齢になると、なじみある地域や自宅で暮らし続けることが最良の環境であり、そのためのサービスを上手に活用してほしい。」「行事参加、専門職員による講座開催、災害時連携、学校等との連携が考えられる。」「農作業指導などの活躍の場や、雇用機会の提供もできる。」などの意見がありました。

「風のごはんや」視察研修

寿都町のコミュニティレストランを視察しました



12月14日に協議会役員と「サロンなごみ」のボランティアスタッフなど16人が参加し、寿都町の「風のごはんや」

を視察しました。高齢者や子育て世代が集う人気スポットで、週1回、毎回シェフが変わる「ワンディシェフ」方式で、500円のランチを提供しています。

寿都町役場企画課からの説明のあと、日替わりランチを試食し、運営グループである「未来の里-寿の都」の榎谷会長ご夫妻と意見交換を行いました。今後の「サロンなごみ」の運営に大変参考になる、実りの多い研修となりました。

サロンなごみで無線LANが使えます！

利用は無料で、なごみの開館日、月・水・金（祝日、年末年始は除く）の11時～15時です。ぜひご利用下さい！

納内のさまざまな資源を生かして、元気に暮らし続けられるまちにしよう！

納内のまちの将来を話し合う集いを開催しました



11月15日、納内コミュニティセンター体育館にて、「納内のまちの将来を話し合う集い」を開催しました。当日は、約130人の方々がご参加され、活発な話し合いが行われました。

4つのテーマに分かれ、3人ずつのグループで意見を出し合い、提案としてまとめて発表しました。最後に4つのテーマごとに出された提案の中から「ぜひ実現してほしい」「大切な取組だ」と思うものに全員で投票しました。

いただいた提案は、今年度まとめる「地域づくりのビジョンと戦略」に反映していきます。

4つのテーマで、68の提案が出されました！

そのうち、各テーマごとの「一番シール」の投票数上位7つの提案をご紹介します！

シール投票：各テーマごと、重要な提案に一人3枚のシール（うち一番重要なものは一番シール）を投票しました。提案の後ろの数字は（一番シール数+その他シール数=合計数）です。

テーマ 1 お年寄が元気に活躍できるまちにしよう（合計 15 提案）

- ★市街地（スーパー・病院等がある）に一人暮らしまたは夫婦世帯が住める高齢者専用住宅をまとめて設置してほしい。(32+13=45)
- ★深川市の巡回バスの充実。巡回バスの延長やスクールバスの利用ができないか。(19+19=38)
- ★デマンド交通の活用、利用者のニーズ（買物・病院）に応じた交通網整備（小型車など）。(16+7=23)
- ★高齢者の“生きがい”への各種サポーター等を養成。除雪、庭木管理、子供達への昔の遊び、地域のいろいろな世話役。(10+23=33)
- ★老後は元気なうちに自由に気ままな共同生活ができる低経費な施設を作ろう。(8+30=38)
- ★除雪等のボランティア活動。希望者を登録して土日祭日等に集中して活動を進める。(6+24=30)
- ★今の農地を引継いで活用する仕組みをつくらう。家族経営の後継者を見つける。地域みんなで農作業ができるような会社をつくる。(6+22=28)

【その他】「趣味特技の仲間をつくり「サロンなごみ」で作品展示・コミセンでの講師など活躍の場をつくる」「お年寄の見守りについて、お互いに確認し合える目印を玄関に立てかける」「医療の充実」などの提案もありました。

テーマ 2 訪れてみたいと思ってもらえるまちにしよう（合計 14 提案）

- ★若い人達に納内に興味を持ち移住してもらうには、働く場が不可欠。農業生産・農産物の加工販売等の仕事をめざす人達を受け入れる環境をつくる（農業女子を育てるのもいいのでは）。(42+22=64)
- ★国民年金で住める住宅を作ろう。今住んでいる納内住人が他地区の施設へ移らず納内にある施設に入るまでのつながりの場を作る。それにより他地域から移ることができるまちにしよう。(21+26=47)
- ★農家レストラン、直売所、朝市。納内の農産物を使ったもので！(11+31=42)
- ★コスモス等花の群生地を作る。納内の交通量が多く目立つ場所に群生地を作り名所にする（口コミ等で評判を得る）。(8+10=18)
- ★空家を活かし、農業体験だけでなく、自然の中の暮らしを体験してもらおう。5年かけて集落対策協議会でもインターネットで情報発信していけたらよい。(7+28=35)
- ★クラーク高校野球部の活動を見に来た時に地域ぐるみでおつきあい。自然体験等交流の場を作る。(7+13=20)
- ★空家対策としてクラーク高生の野球部応援や生活参観に来た親族に利用してはどうか。(4+12=16)

【その他】「今住んでいる人たちが地域の良さ（風景・人情・農産物等）を知ることに努め（ウォーキング等の行事等）、住む人自身が広報マンになる」「資源（空家、納内資源マップ情報）をインターネット等で発信する」などの提案もありました。

テーマ 3 小さくても良いからシゴトをつくらう（合計 16 提案）

- ★納内→農業地域⇒人手不足。納内→高齢者が多い⇒話し相手、除雪など。人材派遣会社の設立。(37+40=77)
- ★国道沿いに納内の農産物、花、果物を売る物産館を建てる。農家さん一人ひとりが販売員になり、値段は農家さん同士で相談して決めるシステム。販売員や管理などで雇用を産み出す。納内独自のシルバー派遣を行い、得意な事を活かした職場づくり。(23+31=54)
- ★今のうちからボランティアポイントを貯めて、老後に助けってもらえるようにしよう（話し相手、買物、除雪など）。(12+27=39)
- ★Facebookで情報発信。こまめに納内の情報を発信。田植えの状況、生育の状況、稲刈りの様子。若い独身男性の紹介（顔写真）。農業女子を呼ぶ。(10+16=26)
- ★納内のお米は最高に美味しい。米→麴→味噌、漬物。おにぎりに漬物を付けて「サロンなごみ」で販売。(7+27=34)
- ★納内を拠点とした人材センター。農家の手伝い、雪はね、交通関係、草刈り、庭木の剪定など。リタイアした人の雇用、見守りや安否確認も兼ねる。(5+10=15)
- ★納内独自の小さなゴールド人材センターを作って、高齢者でも得意な分野で活躍できるように。(5+7=12)

【その他】「地域のお困りごとと人材のコーディネート事業、困りごとを受けて、行政・業者・ボランティア（登録してもらい、適材を適所へ）等へとつなげる」「家庭菜園の作物の販売」「納内連合町内会。町内会を会社化し、会費＝株式に」などの提案もありました。

テーマ 4 まちを元気にする取組をしよう（合計 23 提案）

- ★会社をつくる→働く場所の確保。納内の特産品を作り、加工・販売する会社。ご当地グルメを開発。(26+35=61)
- ★「サロンなごみ」について、若い人も活用しやすいように、時間を長くする（現 11:00～15:00）。メニューの工夫（カレー、ラーメン、丼もの）。(17+18=35)
- ★クラーク高校の生徒の家族に納内を訪ねてもらって機会をつくって交流を図る。(14+14=28)
- ★病院、スーパー、学校、保育園等が集約された集合住宅を設ける。(12+21=33)
- ★子供たちが納内に誇りをもっていきいき育つ環境をつくるために、地域の活力である学校の存続。保育園の受け皿を増やし、地域全体で子供を育てる。子供たちがやりたい（好きな）スポーツが出来るような環境を作る。(9+18=27)
- ★あかとき学園職員・園生、清祥園職員との交流を深める。(8+7=15)
- ★お祭り、イベントの工夫（冬）。例：冬のイベント（昔はみかんまき）、雪明かりとか雪中運動会、雪像作り。(6+14=20)

【その他】「「サロンなごみ」でお茶飲みの日をつくる、送迎をする、子ども達が来られる日をつくる、子どもの作品展示をする」「駅前通周辺にベンチを設置し散歩しやすくする」などの提案もありました。